

**個と協働的な学びをつなぎ
資質・能力を高める社会科学習**
－第6学年の実践を事例として－



秋田大学教育文化学部附属小学校
社会科部 鈴木 聡

発表内容

- 1 社会科研究テーマ・課題
- 2 社会科の研究の重点
- 3 第6学年の実践「戦国の世から天下統一へ」
 - (1) 実践の概要
 - (2) 重点1に関わる手立てと子どもの姿
 - (3) 重点2に関わる手立てと子どもの姿
 - (4) 成果と課題

1 社会科研究テーマ・課題

No. 3

研究テーマ

社会的事象の「見方・考え方」を
自覚的に用いて課題を追究し、
社会と自分とのつながりを見いだす
子どもを育む学び

1 社会科研究テーマ・課題

No. 4

昨年度の実践の課題

- ①問題解決の**見通し**をもって仲間と**協働的に**
追究するための単元構成の工夫
- ②活用した社会的事象の「**見方・考え方**」が
適切であるのかを、**見つめ直す**省察の場の工夫

2 社会科の研究の重点

No. 5

重点（1）

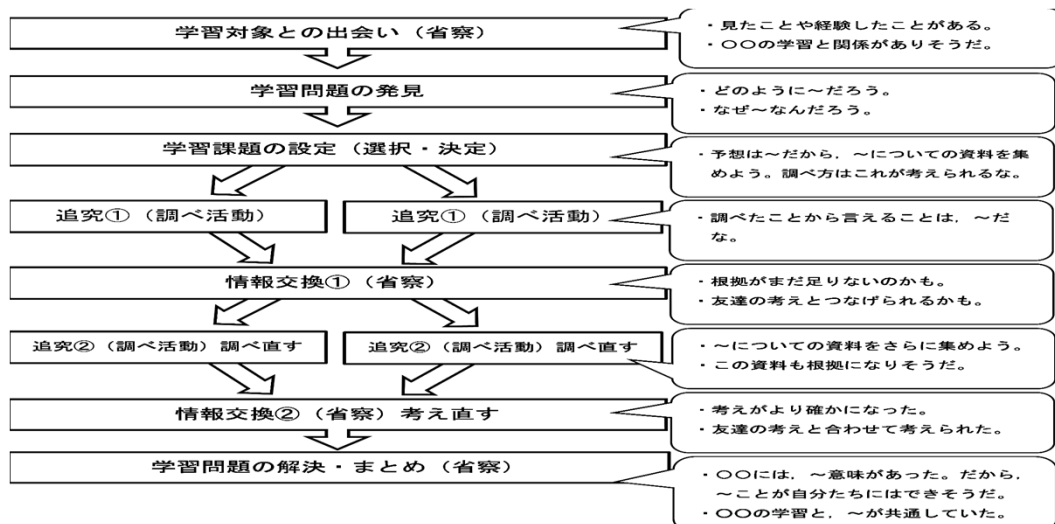
問題解決の見通しをもち、社会的事象について仲間と協働的に追究するための「**選択・決定**」を位置付けた単元構成の工夫

重点（2）

社会的事象についての認識の深め、自分なりに意味付けることに結び付くための**省察**の場の工夫

2 社会科の研究の重点

No. 6



社会科 自律した学習者を育てる学習のプロセス

2 社会科の研究の重点

No. 7

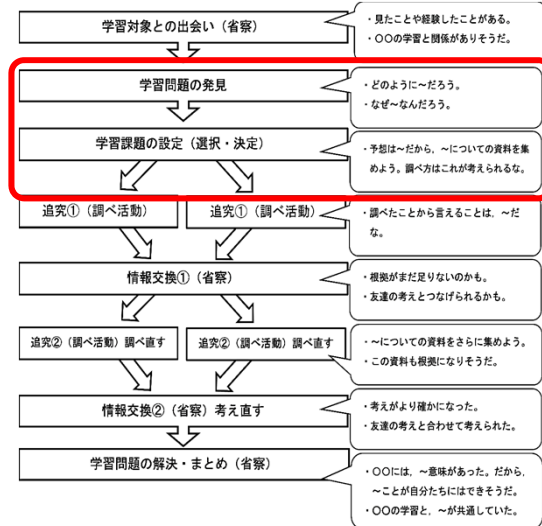
重点（1）

問題解決の見通しをもち、社会的事象について仲間と協働的に追究するための「選択・決定」を位置付けた単元構成の工夫



キーワード

- ・学習問題の解決への見通し
- ・大きな「選択・決定」の場
⇒追究していく学習課題を設定する場
- ・一人一人がそれぞれ調べたり考察したりする複線型の展開



社会科 自律した学習者を育てる学習のプロセス

2 社会科の研究の重点

No. 8

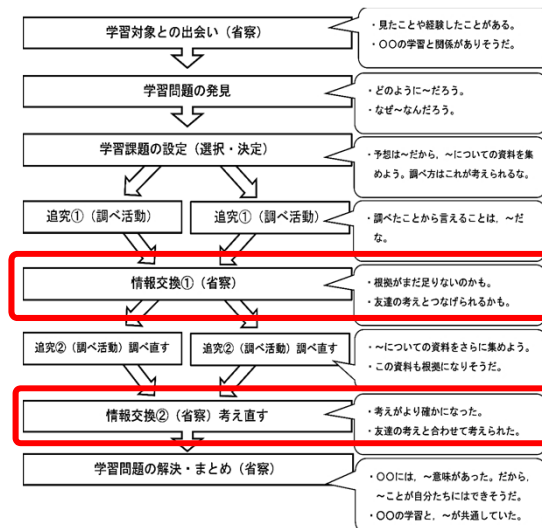
重点（2）

社会的事象についての認識の深め、自分なりに意味付けることに結び付くための省察の場の工夫



キーワード

- ・自分なりの社会的事象の特色や意味についての捉え、それを支える根拠や理由が妥当であるのかを**見つめ直す**
- ・様々な**集団で「対話」**する活動の設定



社会科 自律した学習者を育てる学習のプロセス

単元名

戦国の世から天下統一へ（総時数 7 時間）

本単元で育む主な資質・能力

キリスト教の伝来や、織田信長・豊臣秀吉の働きに着目して、戦国の世が統一されたことを捉え、人物の役割を考える。（1-26）

本単元の学習活動で働かせる

主な「見方・考え方」

・推移や背景に着目し、戦国の世の統一について、戦い方の工夫、政策、外国との関わりの複数の視点を関連付け・総合して考える。



3 第6学年の実践－重点（1）に関わって－

No.11

学習問題の設定

導入で提示した戦国大名や信長・秀吉の年表の資料から読み取ったことを基に、本単元で解決したいことを子どもの問いを基に設定

9/30 (水) 室町時代
① 資料をもとに、学習問題をつくらう。
↳ 共通点、ちがう点。

共通点
→ 城をつくる
→ 土地を支配
→ 天下統一をめざす
武将
ちがう点

城の場所

戦い方
・たぐひをた
↓
大名をたぶる
領地をたける
したかかせた
作戦

外国とのやり取り
キリスト教
朝鮮

政治
・刀狩り
・検地!?
・関白
・侵略

信長
・明智にたおされる

秀吉
・明智をたぶる
・関白
・尾張の農村
・朝鮮侵略
・検地
・刀狩り

尾張の小大名
・羽衣教
・幕府をたぶる
・粟田・家康と連合

単問 信長と秀吉は、どのようにして勢力を広げ、天下統一を成したのだろうか。

2/7 時間目 板書

3 第6学年の実践－重点（1）に関わって－

No.12

予想を考える場



予想の共有

9/30 (水) 室町時代
① 資料をもとに、学習問題をつくらう。
↳ 共通点、ちがう点。

共通点
→ 城をつくる
→ 土地を支配
→ 天下統一をめざす
武将
ちがう点

城の場所

戦い方
・たぐひをた
↓
大名をたぶる
領地をたける
したかかせた
作戦

外国とのやり取り
キリスト教
朝鮮

政治
・刀狩り
・検地!?
・関白
・侵略

信長
・明智にたおされる

秀吉
・明智をたぶる
・関白
・尾張の農村
・朝鮮侵略
・検地
・刀狩り

尾張の小大名
・羽衣教
・幕府をたぶる
・粟田・家康と連合

単問 信長と秀吉は、どのようにして勢力を広げ、天下統一を成したのだろうか。

2/7 時間目 板書

学習問題を解決するための視点の設定

3 第6学年の実践 – 重点（1）に関わって –

No.13

視点を踏まえ、一人一人が学習課題を設定

戦い方

・鉄砲などの秘密兵器を使って勢力を広げたと思う。だから、どのような道具や戦法を使ったのかについて調べる。（A児）

外国とのかかわり

・外国とのかかわりを強めたと思う。だから、どのようなことをしてかかわりを強め、国の発展につなげたのか調べる。（B児）

政治

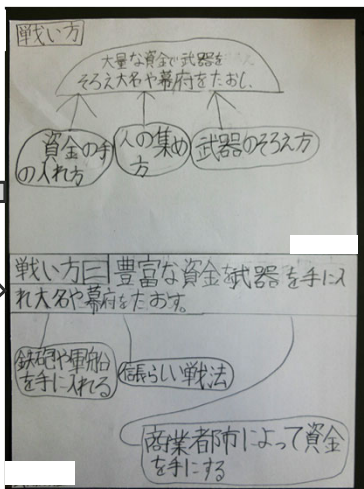
・自分の役職や権力を使って勢力を広げたと思う。だから、政治の仕組みなどを調べる。（C児）

3 第6学年の実践 – 重点（1）に関わって –

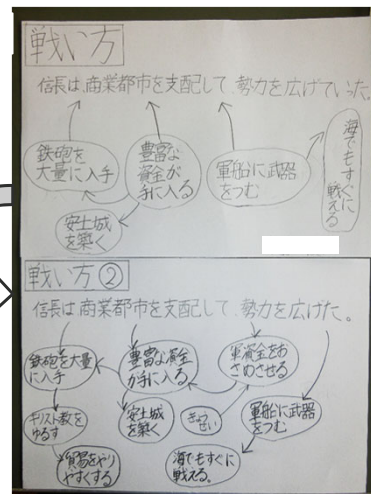
No.14

考えの修正 – クラゲチャートの活用 –

D児



E児

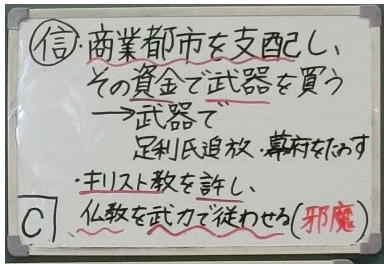


3 第6学年の実践－重点（2）に関わって－

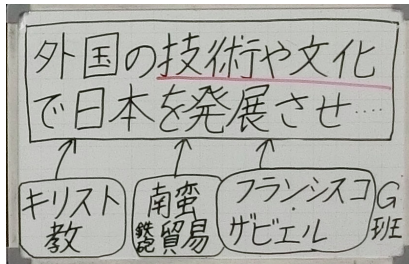
No.15

同じ課題ごとの情報交換①

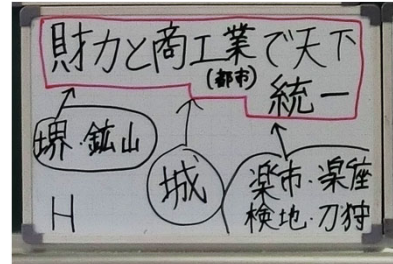
戦い方



外国との関わり



政治



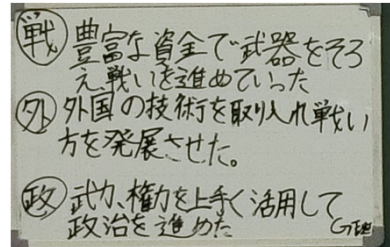
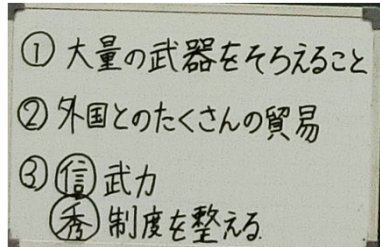
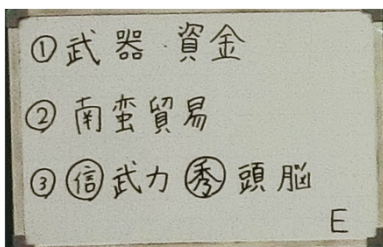
3人で情報交換し、学習問題についての考えとそれを支える根拠を整理

3 第6学年の実践－重点（2）に関わって－

No.16

異なる課題ごとの情報交換②

①戦い方 ②外国との関わり ③政治



3人で情報交換した上で、各視点ごとにキーワードを整理


3 第6学年の実践 – 成果と課題 –

No.17

成果

・学習問題の解決のために、学習課題を追究する姿が見られた。
⇒根拠を増やす・根拠をつなげる

・複数の視点を関連付けて考える姿が見られた。
⇒戦での鉄砲活用⇔商業都市の支配
仏教勢力を武力で制圧⇔キリスト教の保護



大きな「**選択・決定**」の場の設定や**視点を変えた情報交換**の活動は省察する上で有効
(個と協働的な学びの往還)

3 第6学年の実践 – 成果と課題 –

No.18

課題

・自分の学びの状況を見つめる力の高め方
⇒考えやそれを支える根拠の妥当であるか、
曖昧な部分はないかなど、
振り返ることができるようにするための手立て

・調べ活動での不足を補うための手立て
⇒子どもの調べ活動では補いきれない学習内容を
単元を展開する中で、いつ、どのように取り上げるのが
効果的であるのか。

参考文献

- ・資質・能力を育成する教育課程の在り方に関する研究報告書 1 ～使って育てて21世紀を生き抜くための資質・能力～ プロジェクト研究「資質・能力を育成する教育課程の在り方に関する研究」研究代表者 高口努 2015 国立教育政策研究所
- ・自治体との連携による協調学習の授業づくりプロジェクト 協調学習 授業デザインハンドブック－知識構成型シグソー法を用いた授業づくり－ 三宅ほなみ他 2015 東京大学 大学発教育支援コンソーシアム推進機構
- ・澤井洋介の社会科の授業デザイン 澤井洋介 2015 東洋館出版
- ・見方・考え方「社会科編」澤井洋介 加藤寿朗 2017 東洋館出版
- ・「主体的・対話的で深い学び」を実現する社会化授業づくり 北俊夫 2018 明治図書出版